

あいかわ 森のようちえん

平成27年3月21日～22日 神奈川県立愛川ふれあいの村

3月21日（土）1日目

まだ少し肌寒く霧雨の降る中、今年度最後の『あいかわ森のようちえん』を開催しました。18家族50名の皆様にご参加頂き、午前中は参加者全員でゲームと自己紹介を行いました。大人も子どもも一緒になって楽しく遊び、自己紹介では「こんにちは！〇〇です。」と、元気な声が室内に響きます。



午後は、朝から降りつづいていた雨が止み、まるで天気が子どもたちを外へ誘っているようです。お昼ごはんの後は『あいかわたんけんたい』へ出発。子どもたちは自然の中から何かを見つけては「見てみて」「この棒はつえだよ」とお家の方やスタッフに教えてくれます。長い棒を2人で運んだり一緒にキノコをつついてみたりと、一緒に自然の中で遊んでいるうちにいつの間にかお友だちになっていきます。



途中から大人と子どものグループに分かれて活動します。子どもたちはお家の方に見送られ「行ってきます。」と木々の茂る山に出発して行きます。歩くたびにパキパキと鳴る音とその感触を楽しんだり、下りの坂道ではお尻をつけて降りてみたり、たくさん感じて考えて楽しんで自然を満喫しました。



大人たちはいろいろな落ち葉を使った『葉っぱじゃんけん』で遊び、食べられる春の植物【ヤブカンゾウ】や【カタクリ】を観察しました。その後は、たき火を囲みながら子どもたちの帰りを待ちます。



夕食をお腹いっぱい食べた後は『夜のたんけん』です。暗いけれど、お友だちがいれば大丈夫。「星きれい！」「何かいるかな？」と夜の自然を楽しみます。ライトで周りを照らしていると木の上に2つの光る点を発見。正体はムササビでした。なかなか見つける事ができないムササビを観察し、この夜は貴重な体験ができました。

3月22日（日）2日目



2日目は朝食と片付けを済ませ、お楽しみのアウトドアクッキングの時間です！メニューは春の野菜を使った[たけのこの炊き込みご飯][鮭のホイル焼き][お吸い物]の3品。子どもたちも積極的に料理に参加して、お家の方に包丁の使い方を教わりながら野菜を切っていきます。その後は〈特別任務〉！子どもたち全員で協力しながら食堂から食器などを運びます。「わっしょい！わっしょい！」と元気良く運んできてくれました。



今まで苦手だった野菜も、「自分で作ったから食べる事ができた！」という子もいました。お片付けは役割分担をして行います。まずは子どもたちが大部分の汚れを落とし、最後の仕上げを大人たちがします。片づけが終わったら、大人たちはまったりタイム。子どもたちは『のあそび』へ出発！やわらかくて長い枝をつかって縄跳びをしたり、トンネルを作ってくぐったり、木の枝の形が「鳥みたい！」と気付いて教えてくれたり、みんな自然の中から沢山の発見をしていきます。芝生の坂道が広がる場所では転がりあそびが展開されました。帰ってきた子どもたちは芝生だらけ。それを見たお母さんはびっくり。しかし「お土産沢山だね～」と笑顔でした。



自然の中で沢山遊んだあいかわ森のようちえん。自然の中で遊ぶことで子どもの五感は刺激され感性が磨かれます。見たり、触ったり、嗅いだり聞いたりちょっと味見をしてみたり…。子どもにはとても楽しく、それは貴重な体験となります。四季のある日本では季節ごとに見られる植物や昆虫、動物とその痕跡などが変わってきます。これからだんだん温くなり、春の植物や昆虫などが顔を出してきます。きっとお家の近くの公園や土手などでも発見ができると思います。是非、ご家族で自然を楽しみいろいろな発見をして下さいね。（文責：天野）